

「踊りの輪」

来夏へつなぐ



新型コロナウイルス感染症の影響により「郡上おどり」、「白鳥おどり」、「白鳥の拝殿踊り」は5月29日(金)、各主催者から全日程開催見合わせの発表がありました。長い歴史の中で、さまざまな難局を乗り越えてきた3つの踊りですが、今年「静かな夏」を迎えます。

今回は、「郡上おどり」の歴史について改めて知っていただききっかけとして、また、新型コロナウイルス感染症と向き合うこれからの観光について考えるきっかけとしてまとめました。

四〇〇年以上の歴史をたどる

今回の開催見合わせの発表は、踊りの歴史に残る衝撃的な出来事です。それは、400年以上の歴史を振り返っても夏の期間に一切踊りが行われなかったことがないと推測されるからです。

過去には、明治維新後に政府が推し進めてきた急速な欧米化を意図する近代化政策では、「盆踊り」などの民俗的風習を否定していたこともあり、明治7年に「盆踊り禁止」の布達(行政の命令)が出されました。しかし、この禁令の際も「盆踊り」は廃絶することなく、細々と受け継がれてきました。

また、「郡上おどり」は太平洋戦争中や終戦の年においても警察署の特別の了解を得て、戦没者の慰霊のために踊ったという記録も残されています。

「白鳥おどり」と「白鳥の拝殿踊り」も夏の期間に一度も行われなかった前例はないと思われ、コロナ禍の甚大さを知るところであります。

戦時中も亡き人たちのために踊り、伝統を守ってきた

日中戦争の中頃から太平洋戦争中、全国的に「盆踊り」は禁止されていましたが「郡上おどり」は先祖や戦没者の慰霊のため踊ることができました。八幡小学校の校庭で踊られたほか、

願蓮寺に戦没者の写真を飾り、参道には盆提灯をつるして、読経後は橋本町において供養踊りも行われていたと記されています。

終戦となった昭和20年8月15日の夜は、橋本町の踊り場へ集まった人たちが「戦争で亡くなった人たちへの慰霊とともに、伝統を守り続け、これからの郷土に生かしていこう」と語り合い、人・郷土・伝統のために大勢で踊ったとされています。

昭和23年頃には、囃子方の三味線や笛・太鼓の音頭取りも次第に揃うようになりました。踊りの輪を一つにして盛大に踊れるようにと、踊り屋形を作る話が始まり、昭和24年に実現しました。

現在の踊り屋形を中心に幾重にも広がる踊りの輪の整然とした美しさは、先人の郷土・伝統を大切に、守り続けたいという熱い思いによって生まれたと考えられます。また、この思いは、全国にも広がり、「日本一のおどりのまち」と言われる由縁にもなったのではないでしょう。

【参考文献】『郡上おどり』(郡上おどり保存会)

『歴史でみる郡上おどり』(郡上おどり史編集委員会)



▲記者会見の様子



▲日置敏明市長【郡上おどり実行委員会名誉会長・白鳥おどり実行委員会名誉会長】



▲藤田政光郡上おどりの保存会会長・郡上おどり運営委員会会長



▲遠藤正史白鳥おどり実行委員会会長



日置敏明市長【郡上おどり運営委員会名誉会長・白鳥おどり実行委員会名誉会長】より



この度の発表は、「踊りを楽しみに折角郡上においでくださった皆様には万が一のことがあつては申し訳ない。ご迷惑をおかけしては申し訳ない。」という思いからの苦渋の決断であったと存じますが、郡上の宝である郷土文化の継承には、長い眼で見れば大きな意味を持つものと考えます。

各主催者においては、市民の皆様そして全国の踊り愛好家の皆様に向けて、ライブ配信の計画などをされております。市としましてもコロナ収束時を見据え、宿泊割引や市内での体験割引等のクーポン発行等、経済の活性化に向けた新たな観光施策に取り組んでまいります。

コロナとの戦いは長期にわたりますが、元気な郡上の創出に向け、知恵を絞ってまいりたいと考えます。

今年の夏は踊りがありませんが、静かな城下町の散策や自然の中での深呼吸など、「一味違う郡上」を楽しんでいただけるよう、市民の皆様及び郡上ファンの皆様への情報発信に努めてまいりますので、今後よろしくお願いたします。

時代・状況に合った踊りのあり方

各踊り主催者においては、少しでもお囃子や踊りの雰囲気や清流を楽しむラフテイニング、または文化的施設巡りなど踊り以外にも楽しみ満載です。ぜひ、食・文化・自然など郡上の魅力を体感していただきたいと思います。

また、踊りの由来やいわれ、歴史などにも触れ、郡上の踊り本来の意味を再確認できる情報発信が盛り込まれています。さらには、踊りのライブ配信に併せて、豊かな自然を生かしたアウドリアコンテンツやグルメなど、郡上の魅力も紹介される予定です。

なお、ライブ配信等については、コロナの状況に応じ慎重に進めてまいります。今後の計画等は郡上市観光連盟ホームページ等でお知らせいたします。

踊り以外にも充実した観光資源

市は、各踊り主催者とともに来年につながる取組みに今後

工夫してまいります。

郡上の夏は、日本一を誇る鮎や清流を楽しむラフテイニング、または文化的施設巡りなど踊り以外にも楽しみ満載です。ぜひ、食・文化・自然など郡上の魅力を体感していただきたいと思います。

みなさん、コロナ対策を十分にしていたいただき、「今年ならはの郡上」を満喫しましょう。

※「白鳥おどり」・「白鳥の拝殿踊り」の歴史は次号掲載します。

6月補正予算で新たな経済・観光支援

商工観光部では、コロナ収束時を見据え、さまざまなコロナ対策事業に取り組んでいます。また、6月の補正予算により商工観光部で新たな支援事業を行います。詳細は市ホームページでご確認ください。

【新規事業】

- プレミアム付商品券事業
- 郡上で泊まろう支援事業（宿泊割引クーポン）
- 郡上で遊ぼう支援事業（郡上満喫体験型観光割引助成）
- 郡上ツアーを楽しもう支援事業（周遊バスツアー造成補助金）